



長期飼育困難 ギンザメ展示中

鴨川市の水族館「鴨川シーワールド」で、深海魚のギンザメの写真、同水族館提供の展示が始まった。

同水族館によると、ギンザメは日本周辺の海に生息する軟骨魚類の一種で、銀色の体や大きな目と胸びれのほか、背びれに毒針があるのが特徴。長期間の飼育が難しいとされているが、同水族館は2006年に鴨川沖で捕獲されたギンザメ

* 鴨川シーワールド

を315日間にわたって飼育したことがある。

今回展示されているのは2月8日に鴨川沖の定置網にかかった体長約80センチの雌。深海をイメージした水槽「鴨川海底谷」で今月から公開しており、同水族館は「羽ばたくように泳ぐ姿をぜひ見てほしい」と呼びかけている。問い合わせは同水族館(04・7093・4803)。